

# ICANN報告会 - 次回新gTLD申請募集 -

GMOブランドセキュリティ株式会社  
マーケティング&サービスストラテジ本部  
寺地 裕樹

2023/11/30

## Index

ICANN78の活動進捗	P3
ICANN理事会が決裁した推奨事項	P7
ICANNのPRキャンペーンとアウトリーチ	P14
セカンドラウンドの準備	P16
セカンドラウンド実施のために対応すべき事項	P25

### Compliance Disclaimer

当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。

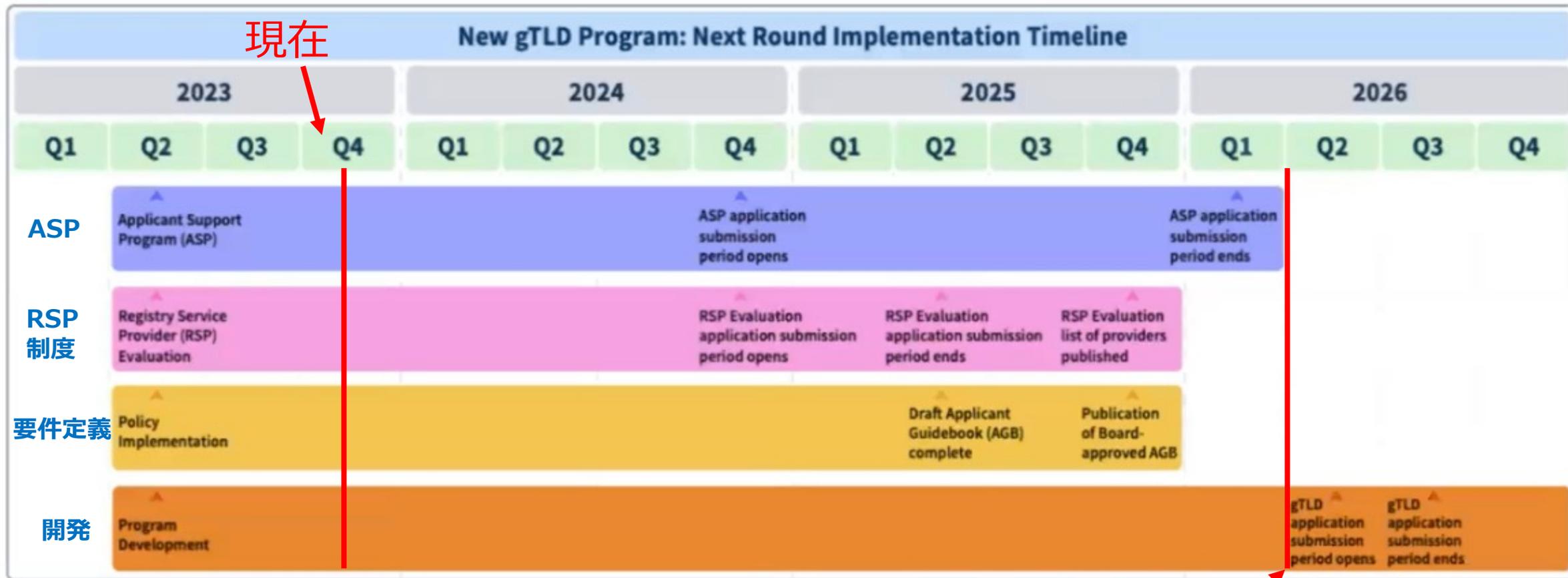
# ICANN78の活動進捗（サマリ）

# ICANN78の活動進捗/ 次回新gTLD申請募集に向けた検討事項

ICANN77以来、主に以下の進捗がありました。

- **2023年9月10日、10月26日に開催されたICANN理事会にて、未解決トピック38件について決裁**
- **セカンドラウンドのPRキャンペーンとアウトリーチを開始**
- **セカンドラウンドを実施するための準備が進行中**
  - ✓ 実装レビューチーム（IRT）がレコメンデーションをどのように実施するか、検討を進めており、Application Guidebook(AGB)のドラフトを作成中
  - ✓ Applicant Support Program（ASP）またRegistry Service Provider（RSP）の評価制度を準備
  - ✓ セカンドラウンド開催に影響するIDN EPDPとClosed Genericsに関して進捗あり

# ICANN78の活動進捗/具体的なタイムライン



現在

申請期間開始

# ICANN理事会が決裁した推奨事項

# ICANN理事会が決裁した推奨事項/9月10日採択内容

## 1) 理事会が採択した内容

- **トピック16: 申請提出期間**

申請提出期間は最低12週間、最大15週間

- **トピック18: 条件と規約**

AGBやプログラムプロセスの重要な変更により申請を撤回する場合の返金方針

- **トピック19: アプリケーションキューイング**

2012年ラウンドで使用されたランダムドロウ方式を支持

- **トピック30: GACコンセンサスアドバイス / GACアーリーワーニング**

GACコンセンサスアドバイスは、ICANN内規に合わせて運用する

# ICANN理事会が決裁した推奨事項 /

## 9月10日にGNSO評議会承認の明確化と共に採用する成果①

1) 理事会がGNSO評議会承認の明確化と共に採用する成果

- **トピック3: ラウンドで評価されるアプリケーション**

申請の評価は、次ラウンドに持ち越さない。次ラウンドの申請提出期間前に、手続きのタイミング/基準について明確である必要がある

- **トピック6: レジストリサービスプロバイダー事前評価**

事前評価プログラムは、収支の合う形で運用をすること

- **トピック9: レジストリ任意のコミットメント / 公共利益コミットメント**

DNS濫用がないように、すべてのレジストリが対応をすることが求められる。

- **トピック26: セキュリティと安定性**

ドメインネームについて、絵文字の使用は禁止

# ICANN理事会が決裁した推奨事項 /

## 9月10日にGNSO評議会承認の明確化と共に採用する成果②

### 1) 理事会がGNSO評議会承認の明確化と共に採用する成果

- **トピック29: 名前衝突**

申請提出期間の開始前に、新gTLD評価プロセスおよび委任への移行フェーズでの名前衝突リスクを評価するメカニズムを用意する必要がある

- **トピック34: コミュニティアプリケーション**

コミュニティ優先評価プロバイダー（CPEプロバイダー）を選択するための評価および選択基準のプロセスは、ICANNコミュニティからの適切なフィードバックを基にメカニズム化すべき

- **トピック35: 最後の手段のオークション / 対立セットの私的解決メカニズム**

gTLDを運用するための善意（「誠実な意図」）が必要。すべての申請に対して誠実な意図を持つ。

# ICANN理事会が決裁した推奨事項/9月10日採択しなかった内容

## 1) 理事会が採択しなかった内容

- **トピック9: レジストリ任意のコミットメント / 公共利益コミットメント**  
単一登録者TLD（ブランドTLDなど）に対する必須PICに対する免除の提案
- **トピック17: 申請者サポート**  
レジストリオペレーターがセキュリティ脅威を評価するための技術分析要件
- **トピック18: 条件と規約**  
申請を拒否するための具体的な基準
- **トピック22: 登録者保護**  
ブランドTLDに対する条件免除の提案。⇒ブランドTLDは引き続き信用状による資本証明をする必要がある
- **トピック24: 文字列類似性評価**  
単数形と複数形の同じ単語に関して文字列の類似性の基準を更新する

# ICANN理事会が決裁した推奨事項/10月26日採択内容

## 1) 理事会が採択した内容

- ・ **トピック9: レジストリ任意のコミットメント / 公共利益コミットメント**
  - ✓ レジストリ契約の規定11 3(a)-(d)に記載された公共利益コミットメント (PIC) は、後続の手続きにおいてgTLDに引き続き含まれるべき
  - ✓ 新しいPICまたはレジストリ任意のコミットメント (RVC) は、ICANNの内規で執行可能であり、ICANN組織と申請者による明確で執行可能な合意が必要
  - ✓ 理事会は、実施前にICANNの内規に沿っていることを確保するために、コミュニティレベルの議論を開始するよう指示し、ICANN79前に完了することを奨励

# ICANN理事会が決裁した推奨事項/ 10月26日に採択しなかった内容

## 1) 理事会が採択しなかった内容

### ・ **トピック32: 限定的な異議申し立て/上訴メカニズム**

- ✓ 理事会は、申請者ガイドブックと矛盾する行為に対する異議申し立て/上訴メカニズムの設立に関する推奨事項を採用しない
- ✓ 懸念事項には、申請プロセスにおける過度のコスト、遅延、および既存のICANN内規の説明責任メカニズムとの衝突が含まれる。
- ✓ 理事会は、適切に作成された、厳格に範囲を定めた異議申し立て/上訴プロセスの価値を認めつつ、提案された形での実施の実行可能性と潜在的リスクについて懸念を示す。
- ✓ 理事会は、補足的な勧告に対してGNSO評議会が実装の実践性に関するフィードバックをICANN組織と共に受けるよう提案

# ICANNのPRキャンペーンとアウトリーチ

# ICANNのPRキャンペーンとアウトリーチ

ICANNはセカンドラウンドの周知活動のため、二つのフェーズに分けてコミュニケーションとアウトリーチを行う予定です。

- フェーズ1：2023年3月に開始し、Universal Acceptanceと多言語ドメインの普及の重要性を対象に発展途上国にて進行中。
- フェーズ2：2026年第2四半期のセカンドラウンドの開始時期の18ヶ月前（2024年10月）に開始予定。セカンドラウンドが開始されることを周知していく予定。

# セカンドラウンドの準備

# セカンドラウンドの準備/作業を進めるアプローチの概要

ICANN側でセカンドラウンドを準備するためにプログラム形式で作業を4つのWork Stream（作業の流れ）に分けて進めています。

Program Level	Description
Work Stream 1 (WS1): Policy Implementation	<i>Implementation Review Team (IRT) and development of the Applicant Guidebook.</i>
Work Stream 2 (WS2): Program Design	<i>Development of the internal processes and procedures with respect to the application lifecycle.</i>
Work Stream 3 (WS3): Infrastructure Development	<i>Development of systems and tools in support of the program.</i>
Work Stream 4 (WS4): Operationalization	<i>Putting all processes, procedures, systems, and tools together into a cohesive program; obtaining and training operational resources; developing operational structure of org to deliver program.</i>

# セカンドラウンドの準備/プロジェクトの概要

プロジェクトが並行で進行中であり、主なプロジェクトは以下となります。

**Project 1: New gTLD Program Foundations**

**Project 2: Applicant Support Program (ASP)**

**Project 3: Registry Service Provider (RSP) Evaluation Program**

**Project 4: Application Submission and Processing**

**Project 5: Application Evaluation**

**Project 6: Objections**

**Project 7: Contention Resolution**

**Project 8: Contracting**

**Project 9: Post-Contracting and Program Operations**

# セカンドラウンドの準備/WS1 IRTのアップデート

## Project Description

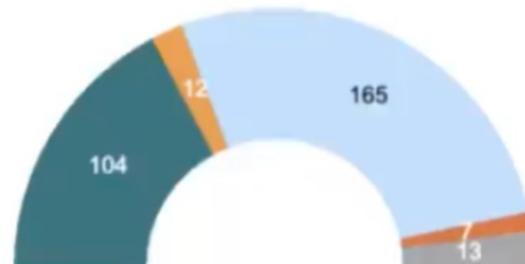
The SubPro IRT assists ICANN org in the implementation of the policy outputs in the Final Report in the new gTLD Subsequent Procedures Policy Development Process.

The outcome of this process will be an updated Applicant Guidebook.

The SubPro IRT has the form of an 'Open + Representative Model' based on the GNSO's PDP 3.0 model.

The SubPro IRT is part of Work Stream 1 of the Next Round of the New gTLDs Program.

## Board Decision on Outputs



● Adopted ● Adopted with Clarifying Statement  
● Acknowledged ● Not Adopted ● Pending

## Project Information

05/16/23

1st IRT Meeting

05/31/25

Expected AGB Completion

146

Days Since 1st IRT Meeting

600

Days to Expected AGB Completion

16.5%

% Completion



Project Health

## Project Contacts

Lars Hoffmann  
Work Stream Lead

Anne Aikman-Scalese  
Susan Payne  
Council Liaisons

- IRTは17%ぐらい完了している見込み。
- 現時点、IRT側でAGBのドラフトを作成中であるが、具体的なアウトプットがない。
- ICANN理事会の2023年9月の決裁を反映済み。
- 未解決の7件の推奨事項はこのアップデートに反映されていない。

# セカンドラウンドの準備/ WS1 IRTがレビュー中の課題一覧（参考）

Shared with IRT
02. Predictability
08. Col
10. Freedom of Expression
11. Universal Acceptance
21. Reserved Names
21a. Geo Names
24. String Similarity

No AGB Content
01. Continuing SubPro
12. Applicant Guidebook
14. Systems
41. Compliance

Share with IRT End of CYQ1 2024
03. Applications in Rounds
06. RSP Evaluation
07. Metrics and Monitoring
17. Applicant Support
19. Application Queuing
20. Application Change Requests
25. IDNs
28. Application Comment
30. GAC Advice + Early Warning
31. Objections
35. Auctions
39. Registry System Testing

Share with IRT CYQ2 2024 and beyond
04. Different TLD Types
05. Applications Submission Limits*
09. RVCs/PICs
13. Communications
15. Application Fees
16. Application Submission Period
18. Terms and Conditions
22. Registrant Protections
26. Security and Stability
27. Applicant Reviews
29. Name Collisions
32. Limited Challenge/Appeals
33. DRPs After Delegation
34. Community Applications
36. Base Registry Agreement
37. Registrar Non-Discrimination*
38. Registrar Support for New gTLDs
40. TLD Rollout*

\*  
\* Topics with 2 or fewer recommendations

# セカンドラウンドの準備/

## WS1 IRTがのレビュータイムラインと実施状況

### 実装レビューの全行程



現状、IRTはこの部分レビュー中

最終ゴール

# セカンドラウンドの準備/ WS1 IRTの実施方法

## 実施方法

- 98個のレコメンデーションを順次確認・実施していく。
- 2回のレビューを行う。

## 実施期間

- 15ヶ月～24か月

## 実施作業完了のため関係する項目（2023年現在のアップデート）

- 未解決のレコメンデーション内容を解決：ほぼ完了
- Applicant Supportのガイドラインを完成：進行中
- Closed Genericに関する議論を完成：完了
- IDN EPDPを完成：進行中
- Name Collision（名前衝突）のプロジェクトを完成：進行中

# セカンドラウンドの準備/ WS2 – 4のアップデート

## Applicant Support ProgramとRegistry Service Providerの評価プログラムに関する主な進捗

- ICANNは組織内のリソースを確保している。
- 両方のプログラムの基準を明確化を進めている。
- RSP評価プログラムとシステムテストのデザインを設計中。

## 全体に関する進捗

- プロセス開発と開発を明確にするための方針を作成済み。
- プロセス設計とアプローチを対象にICANN全部門に渡る議論中。
- 関係するプロジェクト戦略の作業を開始した。
- プログラム操作の機能を行うためのベンダー基準を作成中。

# セカンドラウンド実施のために 対応すべき事項

# セカンドラウンド実施のために対応すべき事項/全体概要

実施作業の完成に関わるプロジェクトはいくつかあります。  
以下のプロジェクトが完了しないとセカンドラウンドを実施できません。

- RSTシステムとRSP評価プロセス
- Applicant Support Program
- Closed Genericsに関する議論
- 名前衝突の分析とアプローチ

# セカンドラウンド実施のために対応すべき事項/ RSTシステムとRSP評価プロセス

RSTシステムとは、レジストリサービスプロバイダ（RSP）がTLD運用をできるためのシステムテストです（ファーストラウンドでのPDTと同様）。RSP評価プロセスの基準も作成しています。

- 各RSPのための評価基準とテスト環境を手配していく。
- RSTとRSP評価プログラムは2024年末までに完了する予定。
- システムテストを自動化できるツールを開発する。
- RSTは既存TLDのレジストリとセカンドラウンドで申請する申請者に使う。
- IANAのチームは今後の技術評価のプロセスのために、円滑なワークフローを確保し、全体のプロセスを改善する。

# セカンドラウンド実施のために対応すべき事項/ Applicant Support Program

Applicant Support Programとは、発展途上国からの申請者のために金銭的な面でのサポート、申請書作成、または運用のためのサポートを提供するためのプログラムです。ICANNはASPを明確にするための調査を行いました。

- **調査目的:** 世界のプログラムを調査して、ICANNの応募者サポートプログラム（ASP）を改善する。
- **主要な結果:** 申請者プールの理解、基準設定、申請評価、継続的なサポートなどの重要な領域を特定。
- **サポート戦略:** 財政的および非財政的なサポート方法を提案し、技術的支援や知識支援を含む。
- **今後の方向性:** 対象グループとの関わりを深めること、申請プロセスの簡素化、効果的なサポートシステムの開発に関するさらなる研究を推奨。

この内容に関する基準を作成するために2023年11月から検討を開始します。

# セカンドラウンド実施のために対応すべき事項/ Closed Genericsに関するアップデート

Closed Genericsは閉鎖型のTLD運用であり、一般名称（.bookや.musicなど）のTLDの申請者・レジストリの単一登録者の考え方に沿った運用を行う課題です。

ファーストラウンドにてICANN理事会に禁止とされた後、運用を可能にするための議論をGAC、GNSO、またはALACの間で行いました。

- 議論の結果として、Closed Genericsの運用を承認するための結果に至らず、引き続き禁止となる。
- Closed Genericsを可能にするためにコミュニティの合意が採れた方針が必要になる。
- セカンドラウンドにてClosed Genericsは不可能として維持されるが、以降の議論が再開する可能性がある。

# セカンドラウンド実施のために対応すべき事項/

## 名前衝突の分析・管理方針

ICANNはインターネット上での新gTLDを導入した後に発生する可能性がある名前衝突問題の解決策を検討しており、現在4つの技術的アプローチを検討しています。

- 1. アプローチ1:** エラーやデータを返さず、リスクは最も低いですがデータ収集はできない。
- 2. アプローチ2:** エラー通知のために特定のIP（127.0.0.53）にクエリを送る。少しリスクは高いがエラーデータの収集が可能。
- 3. アプローチ3:** クエリにパブリックIPアドレスを返すが、データ収集は行わない。アプローチ1と2よりもリスクが高い。
- 4. アプローチ4:** アプリケーション固有の処理が可能なパブリックIPアドレスにクエリを送る。最もリスクが高いが、データ収集と特定の応答が可能。

当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

## GMO BRAND SECURITY

GMOブランドセキュリティ株式会社

寺地 裕樹・Michael Flemming

メール : [consul@brights.jp](mailto:consul@brights.jp)

TEL : 03-5784-1069

- 当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。
- 2022年5月11日に「GMOブライツコンサルティング株式会社」は、「GMOブランドセキュリティ株式会社」に社名変更いたしました。

**BRANDTODAY**<sub>byGMO</sub>

まもるを知るとブランドがもっと面白い

「BRAND TODAY」では、出願商標から見える、ビジネス予測やトレンドや、ドメイン・模倣品に関する様々な情報をお届けしています。

<https://brandtoday.media/>